卒業おめでとう

1組

担任　一宮 愛菜

三年一組の皆さん、ご卒業おめでとうございます！

学習、部活動、ボランティア活動など目の前のことに追われた三年間でしたね。入学式後のホームルームでは「互いを認め合う、笑顔を絶やさず、何事も一生懸命取り組む、きついときても笑顔でいる」と伝えましたが、実行できましたか？　私自身、長く一緒にいればいるほど、皆さんの頑張りよりもできていないことが目につき、怒ってばかりの毎日でした。しかし、今思い返すと運動苦手でも声を掛け合いながら、全員で長縄に取り組んだこと、クラス対抗リレーで予選を突破したこと、オリジナルパンケーキを作らせたら料理上手がたくさんいたこと、毎年誕生日を祝ってくれたこと、一人ひとりの合格を自分のことのように喜び、涙を流したこと。この一年は悔し涙もたくさん流しましたが、それ以上に皆さんの成長を実感し、皆さんに助けられた三年間でした。苦手なことでも諦めるのではなく、どうすればできるようになるのか考える、互いを気遣い、周りを見て行動すること、自分に関わってくれる人との出会いを大切にすること。この三年間伝え続けてきたことを卒業後の進路先でも忘れずに。合格はゴールではなく、通過点です。

十一名全員でこの三年間経験してきたことを胸に、それぞれが自分の決めた進路先で一笑顔命学び、行動し、輝く姿を期待しています。たくさんの苦労と感動をありがとう！

2組

担任　本山真理子

三年二組のみなさん、卒業おめでとう。

みんなの担任になって二年：でも出会って三年になりますね。一年生の最初の授業で教室に入った時、緊張した顔で座っているみんなの顔を今でも覚えています。でも、その緊張も取れてきて、ニコニコした顔、いろいろな話をしたり、私の問いかけにも答えてくれて、毎時間の授業が楽しく、二組で授業することが楽しみでした。そんなみんなの担任を二年生からするとわかったときはとても驚きましたが、みんなの大切な高校生活に携わることができ、嬉しく思いました。この二年間、毎日を楽しませてもらいました。美術専攻の人たちの長時間にわたり完成させた作品、書道専攻の人たちの力の入った作品やパフォーマンス、音楽専攻の人たちの厳しい練習に耐えて発表した歌やピアノ：他では味わえないくらいのたくさんの芸術作品に感動をもらい、家で思い出しながら涙していました。それぞれの専攻で頑張るみんなは一つの作品を完成させることで、歌やピアノの練習の成果を発揮することでそれぞれが輝き、成長していましたね。

これから、それぞれの道を歩んでいきます。就職先、進学先で今までにないくらいの困難や試練が待ち受けているかもしれません。でも、みんなには夢があります。その夢を諦めず、困難や試練に立ち向かってください。でも、辛いとき、悲しいとき、悩んだとき、うれしい話をしたいときはいつでも学校に来てください。いつまでもみんなのことを応援しています。二年間、ありがとう。

3組

担任　和田博文

ご卒業おめでとうございます。これからの新しい旅立ちに際しで、心からのお祝いと激励の言葉を贈ります。

高校での三年間は、きっと正担な道はかりではなかったと思います。きつと喜びや学び、そして試練に満ちていたことでしょう。時には困難な状況に直面し、何度も壁にぶつかったこともあったかもしれません。しかし、それら全てがあなた方の成長にとって重要な経験となったはずです。この三年間の努力と情熱が、今のあなた方を形成し、未来へと羽ばたくための強固な基盤となったはずです。

これからの人生には、多くの選択と挑戦が待っています。大学・専門学校進学、就職、新たな人間関係など、それぞれが新しいステージへの第一歩です。どの道を選んだとしても、自分の信じる道を進んで行ってください。失敗を恐れず、一歩一歩着実に進んで行くことで、新たな可能性や成功が見えてくるなずです。自分の目指す場所にたどり着くために辛い道を避けずに進んで下さい。

また、これまで支えてくれた家族や友人への感謝の気持ちを忘れずに。彼らの応援と助けがあったからこそ、ここまで来ることができました。感謝の心を持ち続けることは、あなた方の人生に豊かさと人間関係の深さをもたらしてくれることでしょう。

未来は未知数であり、予測できないことが多くありますが、それが人生の醍醐味でもあります。どんな状況にあっても、前向きな姿勢と謙虚な心、柔軟な思考を持ち続けて下さい。困難な時には、自分を信じ、周りのサポートを頼りにしながら、勇気を持って立ち向かって下さい。いつだって扉を開けるのは自分自身です。扉は自分で開いて下さい。

最後に、未来に対する期待と希望を胸に、皆さんが持つ無限の可能性を信じて下さい。がんばって下さい。

そして、どんな時も優しく、凛として人生を歩んで行って下さい。これからの人生が、幸せと成功に満ちたものとなるよう、心からお祈りしています。

改めて、ご卒業おめでとうございます。

4組

担任　岡本浩太朗

ご卒業おめでとうございます。そして、二年、三年と、一人も欠けることなく卒業式を迎えてくれたことに感謝したい思います。リーダーシップを発揮してくれた人、人間関係をうまく調整してくれた人、様々な場面で自身の能力を活かして活動を盛り上げてくれた人、一生懸命学校生活を頑張ってくれた人など、全員が、それぞれ何らかの形でクラスに貢献してくれました。みなさん、私が担任を務めさせていただいた二年間、クラスを支えてくれてありがとうございます。

さて、これからの人生において、人間関係を大切にすることがこれまで以上に重要になります。人間関係は、悩みの原因となることもあるもので、何より、人生に常にあり続けます。「ありがとう」「ごめんよ」を自身の中で言葉にし、少しでもそう思うことがあれば間髪入れず伝えること。これを大切にして良い人間関係を築き、人生をさらに豊かにしてください。とはいえ、これから先は、とりあえず生きていること、できれば自身のカで生活を送れるようになっていることの一点ができていれば十分かと思います。目標、夢など持つことも大切なのかもしれませんであるということを頭の片隅に置き、素敵な人生を歩んでいただきたいと思います。

5組

担任　白坂涼聖

あなたたちが教室で『きつい、だるい、憂鬱だ』と現状に悲鳴を上げている姿がしばしば見られました。そんな時、私は『少し先の予定や目標を立てなさい』とアドバイスしました。すると、『分てさへ、うまくいっていないのに、先のことなんて考えられない』と言う子がいました。逆なのです。今がうまくいっていないから、先のことが考えられない。ではなく、先のことを考えないから、今がうまくいかない。なのです。それはどういうことか。

迷子になっている者は、迷子だから行き先が分からない　ではなく、行き先が分からないから、迷子なのです。マラソンランナーは四二・一九五㎞先にゴールがあると知っているから、どちらの方向にどんなペースで走ればよいか分かるのです。今の苦しみも喜びに変えることができるのです。もし、ゴールが分からず闇雲に走るだけならば、こんなに憂鬱なことはないでしょう。今から約二五〇〇年前の中国（春秋戦国時代）に儒家の祖、孔子という思想家がいました。孔子は『人にして遠き慮無ければ、必ず近き憂有り』という言葉を残しています。「遠慮　の語源になったものです。先々のことを考えた結果の行動が「遠慮」であり、そのために心配事が少なくなるということ、「少し遠慮しなさい」は「もう少し先のことを考えて行動しなさい」であり、「遠慮がない」は「先のことを考えた配慮がない」ということです。「　遠くのことを慮る　」一生きていく上で大事にして欲しい言葉であります。

『たゆたう時を楽しむこと程、贅沢なことはない。』

6組

担任　鬼塚徹生

六組の皆さん、卒業おめでとうございます。先生も感無量です。

二年生から六組の担任をさせて頂き、この二年間の思いが文頭の言葉です。『たゆたう時』とは、『のんびりとした時間』とか『穏やかな時間』という意味です。慌ただしい日常とは対極的な素敵な時間です。特に先生が好きだったのは、朝夕のHRや掃除のときに君たちと話をしたり、教卓の周りに君たちが戯れ、何でもない日常の話を笑いながらする時が、先生にとっての『たゆたう時』でした。はたから見ると、爺ちゃんと孫が遊んでいるような…。もっこんな時間も送れないと思うと、ただただ寂しく思います。『時の流れに身を任せたような時間』を、先生と共有してくれてありがとう。

そして爺ちゃんは、今から出かけていく君たちの後ろ姿に、精一杯ただただ手を振り続けます。

『いってらっしゃい』次のステージへ。

7組

担任　中野秀一

一年前のこの時期、まさか自分が二年連続希望の原稿を書くことになるとは思ってもみませんでした。はじめましてから始まった四月八日(月)始業式。塩田校長、橋本先生、中野という三人の教員が一つの教室にいるという非日常的な光景でした。二年生間、いろいろな出来事がありました。三年七組の皆さんは、進路、学習、学校行事、全てにおいて全力で取り組めたクラスだったと思います。それを実現したのは、日常において皆さんがクラスの中で無意識に育んできた絆だったと思います。それを日常に感じた場面を一つ紹介します。それは、諸事情により行った席移動です。本来、一度席替えが行われた際に個別の要望を聞いて、席を入れ替えることは平等でないのでやるべきではありません。この話を二年どのように伝えるか橋本先生と相談しながら、悩みながら皆さんに伝えました。その中で「先生、体調面を配慮して席を代えるなら二番目の席よりも一番後ろがいいんじゃない。」と言ってくれて、そのクラスメイトの為に一番後ろの席をクラスの合意の下で配慮してくれました。様々な反応を想定して　EH　に臨みましたが、皆さんの反応は予想外でクラスとしての優しさや思いやりが育まれていることを実感しました。三年七組の皆さんと橋本先生と過ごす日常は、クラスの絆の尊さを実感した一年でした。最後になりましたが卒業おめでとうございます。

8組

担任　宮本真菜

キラキラ高校生活の始まりかと思えば、帰れまてんや検定前の課外などで「総じてこんなに勉強しなきゃいけないの!?」と実感した一年生。クラス替えがあり環境の変化に苦悩しつつも、たくさんの学校行事を経てクラスとしてまとまってきた二年生。進路の選択から受験、文化祭のステージ発表、ユメチャレ、マスチャレ、クラスマッチ、ダンス発表会と最後まで諦めずにすべてに全力を尽くした三年生。皆さんの入学と一緒に熊本中央高校へ帰って来て、三年間一緒に成長できたことを嬉しく思います。時々文句を言いつつも、勉強や日常生活、学校行事に一生懸命な良いクラスに育ってくれました。

皆さんがはじめての担任だったこともあり、受け持った時はついてきてくれるだろうか、なんて思うこともありましたが杞憂でしたね。私たちを信じて、自分たちの力を信じて、たくさんのことにあったけれど、諦めず再挑戦してきたからのアドバイスを素直に受け止めて、がむしゃらに努力することは中々できることはありません。そのとっておきの不屈の心を持って次へ進んでください。これからも皆さんの挑戦を応援しています。卒業おめでとう。そしてたくさんのはじめてをありがとう。

9組

担任　守田将人

一年生の時、私のことは解剖生理の授業にいる眼鏡の人、くらいの印象だったかもしれません。それが二年生から担任になるなんて、皆さんにとても驚きだったと思います。私自身も驚きでした。クラス替えや馴染みの薄い担任として、大きく変化した環境の中での二年間でしたが、皆さんの成長を見ることができて、とても楽しかったです。

最初にクラスで行ったペンを使ったレクリエーションは、今でも鮮明に覚えています。あの時も、色々といいながらも、最後は全員で取り組んでくれて嬉しかったです。この二年間、色々なイベントを一緒に取り組んできましたが、最後は全員でやり遂げるところが私の自慢できる九組です。

専攻科では、より専門性の高いものを求められるため、くじけそうになることもあるかもしれません。そんな時はいつでも相談に来てください。そして、皆さんの持ち味を活かしながら、夢に向かって走り切ってください。

二年間、楽しい時間を共有させてくれてありがとうございました。

10組

三年十組のみなさんへ

担任　中村　愛

ご卒業おめでとうございます。

今、この文章を綴っているのは二月の初めの週です。再試や補講の真っただ中です。果たして私は無事に二十六人を次のステージを送り出すことができているのか…。きっと大丈夫なはずだという願いを込めて、綴っています。

一つのことをやり遂げるって簡単なことではないですね。入学してからこれまでに何度も困難に行き当たったことだと思います。定期考査、技術試験、確認テスト、病院実習、そして人間関係に健康面……。十組の皆さんとの生活を振り返ると、皆さんにとって、この三年間は中学校までとはまた違った困難の連続だったのだろうなと思います。愚痴もいっぱい聞きました。思わず泣いてしまったチも見ました。思いがけないことの連続で、思うようにいかなくて、諦めかけた瞬間もあったと思います。本当は効率よく、苦しい思いをせずに目標を達成することができればよいかもしれませんが。ですが、苦しい思いをしながらもここまで乗り越えたからこそ、得られる喜びも大きいと思うし、次のステージにも進めます。この三年間本当によく頑張ったね。三年間の努力が報われましたね。

十組はとても賑やかなクラスでした。ハラハラドキドキの毎日でした。気を抜くと、皆さんの元気に圧倒されてしまいそうでした。大きな声を出してばかりでごめんね。でも、二十六人のことは大好きでした。困難を乗り越えるたびに、たくましく成長していく二十六人を見るのがとても好きでした。ここまでついてきてくれてありがとうございました。

「笑う門には福来る」

皆さんの未来が笑顔であふれていることを願っています。

11組

担任　濱田雅世

卒業おめでとうございます。

あっという間の高校三年間でしたね。二年前、看護専攻科から高校に移動してきて二年生の時に皆さんの担任になりました。一八歳以上の学生達を相手にしてきたので、皆さんの元気の良さには驚きを隠せませんでした。各委員や係が自主的に行動してくれ、修学旅行や文化祭などが決まりごとがスムースに進み、提出物も忘れる人が少なく早めに集まり、二年生のクラスマッチで優勝でき、本年度から始まったナースチャレンジでも二連覇することができました。沢山、拍手させてくれてありがとう。

皆さんは、一人一人異なる個性を持つ人間です。一人一人感じ方や考えが違っても当然でコミュニケーションを取る時に、同じ言葉を聞いても感じ方も一人一人違います。伝える時の態度や表情によって感じ方が変わります。看護師を目指す人達にとって、コミュニケーションは大切なスキルになります。私生活でも学校生活でも病院実習でも、自分の言動には十分に気を付けて過ごしていってください。

これから、専攻科での本格的な看護師への勉強が始まります。自分の夢を叶える為に頑張ってほしいと思います。皆さんの成長を楽しみにしています。

卒業生の皆さんへ

第三学年主任　奥島祥子

一月二十九日、卒業生を送り出すための予餞会を開いていただきました。三学年教員からも卒業生に向けて何かメッセージを送りたいとの思いから、「あのソーラン節を三年生全員で最後まで踊りきろう！」となりました。忘れもしない体育祭、ソーラン節の曲が途中で止まるハプニング。みんなの機転と観客の皆様の温かい手拍子のおかげで乗り越えましたが、やっぱりもう一度！　と考えました。そして皆さんには内緒で、三学年の先生方とあれこれ準備をしました。ただ心配なのは、「私たちが何をしたいかを感じ取ってくれるか」「そもそもソーラン節の振りを覚えているのか」でした。しかし予想に反して、曲とともに全員が体育館に大きく広がって踊り始め、自然と「どっこいしょ！　どっこいしょ！」「ソーラン！　ソーラン！」の大きな声が響きました。皆さんのパワーとエネルギーを感じ、同時に成長を感じた時間となりました。これから進む新たな道も何が起こるかわかりません。うまくいかないこともあると思います。どんな時も自分が正しいと思うこと、目の前のことに精一杯努力をしてください。楽しいことも悩みや苦労もすべてが経験です。皆さんの今後を心から応援しています。

卒業によせて

三学年委員長　岡元美和

三年前の春は不安と緊張そして胸いっぱいの希望を携えて入学した高校を、この春、晴れやかに新たな希望を胸に卒業という節目を迎える三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この三年間はコロナ禍により例年通りの行事ができず我慢の時期もありました。しかし、学校生活を送る中で出逢ったご縁、築き上げた絆、培った知識そして成長した心は一生の宝物となることと信じています。これから、それぞれの選んだ道を一歩ずつ進んでいく中、思いがけない困難に立ち止まることがあるかもしれません。その時は、この三年間で積み重ねてきた経験と、共に過ごした先生方や友人との時間を糧に乗り越えてほしいと願います。

保護者の皆様には三学年委員長として、後援会へのご理解とご協力を賜り感謝いたします。毎日のお弁当作り、部活動の送迎など私たち保護者も卒業です。これから淋しくなりそうです。

また、校長先生をはじめ教職員の皆様には優しくも時には厳しく根気強く、多感な年頃の我が子たちに寄り添ってご指導くださいましたことに心より御礼申し上げます。

最後に、熊本中央高等学校の益々の発展と教職員の皆様のご多幸とご健康を祈念いたしております。

三年九組のみなさんへ

担任　濱田雅世

卒業おめでとうございます。

あっという間の高校三年間でしたね。二年前、看護専攻科から高校に移動してきて二年生の時に皆さんの担任になりました。一八歳以上の学生達を相手にしてきたので、皆さんの元気の良さには驚きを隠せませんでした。各委員や係が自主的に行動してくれ、修学旅行や文化祭などが決まりごとがスムースに進み、提出物も忘れる人が少なく早めに集まり、二年生のクラスマッチで優勝でき、本年度から始まったナースチャレンジでも二連覇することができました。沢山、拍手させてくれてありがとう。

皆さんは、一人一人異なる個性を持つ人間です。一人一人感じ方や考えが違っても当然でコミュニケーションを取る時に、同じ言葉を聞いても感じ方も一人一人違います。伝える時の態度や表情によって感じ方が変わります。看護師を目指す人達にとって、コミュニケーションは大切なスキルになります。私生活でも学校生活でも病院実習でも、自分の言動には十分に気を付けて過ごしていってください。

これから、専攻科での本格的な看護師への勉強が始まります。自分の夢を叶える為に頑張ってほしいと思います。皆さんの成長を楽しみにしています。